



平成29年7月31日

各 位

会社名 アピックヤマダ株式会社
代表者名 代表取締役社長 押森 広仁
(コード番号 6300 東証二部)
問合せ先 取締役企画部長 小出 篤
(TEL. 026-275-2111)

(訂正) 「平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成23年8月5日に開示いたしました「平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容及び理由

訂正内容及び理由につきましては、本日公表の「過年度の有価証券報告書等及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 アピックヤマダ株式会社
 コード番号 6300 URL <http://www.apicyamada.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野中 正樹
 問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 小出 篤 TEL 026-275-2111
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,524	△19.9	△274	—	△258	—	△267	—
23年3月期第1四半期	3,153	109.2	133	—	141	—	115	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △221百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 157百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△21.52	—
23年3月期第1四半期	9.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	12,208	5,945	48.7
23年3月期	12,799	6,167	48.2

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 5,945百万円 23年3月期 6,167百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		0.00	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,900	△18.9	△280	—	△160	—	△180	—	△14.48
通期	13,400	△8.8	90	△85.8	350	△54.1	290	△58.5	23.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	12,969,000株	23年3月期	12,969,000株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	540,901株	23年3月期	540,647株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	12,428,149株	23年3月期1Q	12,429,948株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、今年3月に発生した東日本大震災により多大な影響を受けましたが、サプライチェーンの急速な復旧などで回復基調にあります。しかしながら原発事故およびその後の全国的な電力不足への広がり、政策の停滞等により、先行きの不透明感はぬぐいきれないものとなっています。一方、海外でも欧米の景気の停滞感が強まっている上、新興国においてもインフレ圧力から金融引き締め傾向にあり、景気悪化に対するリスクが払拭できない状況にあります。

こうした状況のもと、当社グループは既存マーケットへの踏込みを一層強化するとともに、当社の強みである研究開発の姿勢を強め新技術の提案を積極的に行ってまいりました。その結果、ウェアレブルパッケージ向け装置、LED向け液状トランスファモルディング装置等の新製品がお客様よりご好評を頂戴し、新たなマーケットの開拓に寄与してまいりました。しかし、当社の主力マーケットである半導体業界において設備投資の手控えがみられ、受注環境は盛り上がりには欠けました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,524百万円（前年同四半期比19.9%減）、営業損失は274百万円（前年同四半期は営業利益133百万円）、経常損失は258百万円（前年同四半期は経常利益141百万円）、四半期純損失は267百万円（前年同四半期は四半期純利益115百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 電子部品組立装置

電子部品組立装置については、LED向け等の新規分野は活発な動きとなりましたが、一般半導体向けは前連結会計年度後半からの半導体業界の調整期入り以降、国内外とも新規設備投資は低調で受注も低調な動きとなりました。

この結果、売上高は1,184百万円（前年同四半期比27.9%減）、セグメント損失は80百万円（前年同四半期はセグメント利益180百万円）となりました。

② 電子部品

電子部品については、LED市場向けが前連結会計年度第4四半期より回復し好調に推移し、また半導体市場向けについても回復傾向にありました。しかしながら、リードフレーム等の材料高騰が引き続き損益面に大きな影響を与えました。

この結果、売上高は1,121百万円（前年同四半期比8.8%減）、セグメント損失は60百万円（前年同四半期はセグメント利益76百万円）となりました。

③ その他

その他につきましては、リード加工金型およびリードフレーム生産用金型の販売を行っております。リードフレームパッケージ向けの設備投資が低調に推移したため、受注・売上とも低調な動きとなりました。

この結果、売上高は218百万円（前年同四半期比21.9%減）、セグメント利益は26百万円（前年同四半期比104.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、12,208百万円（前連結会計年度末は12,799百万円）となり、前連結会計年度末と比較して590百万円減少いたしました。これは主に売掛金の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、6,262百万円（前連結会計年度末は6,631百万円）となり、前連結会計年度末と比較して368百万円減少いたしました。これは主に買掛金の減少によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、5,945百万円（前連結会計年度末は6,167百万円）となり、前連結会計年度末と比較して221百万円減少いたしました。これは主に四半期純損失の計上による利益剰余金の減少によるものであります。

なお、これらの要因により、自己資本比率は48.7%（前連結会計年度末は48.2%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日公表いたしました連結業績予想から修正を行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,031,247	2,918,365
受取手形及び売掛金	2,928,550	2,519,209
商品及び製品	536,506	484,667
仕掛品	894,958	956,058
原材料及び貯蔵品	441,754	441,540
その他	236,601	184,379
貸倒引当金	△1,047	△905
流動資産合計	8,068,572	7,503,316
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,508,920	1,487,902
機械装置及び運搬具(純額)	835,262	831,952
土地	854,195	855,903
その他(純額)	284,948	274,751
有形固定資産合計	3,483,326	3,450,510
無形固定資産	203,525	187,553
投資その他の資産		
関係会社出資金	502,387	533,390
その他	551,650	543,290
貸倒引当金	△10,299	△9,629
投資その他の資産合計	1,043,738	1,067,051
固定資産合計	4,730,590	4,705,114
資産合計	12,799,162	12,208,430
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,084,973	1,821,573
短期借入金	2,240,000	2,327,500
1年内返済予定の長期借入金	208,800	208,800
未払法人税等	32,324	20,774
賞与引当金	124,150	59,836
製品保証引当金	44,505	48,832
その他	571,589	498,004
流動負債合計	5,306,344	4,985,320
固定負債		
長期借入金	384,200	332,000
退職給付引当金	831,184	829,846
その他	109,520	115,336
固定負債合計	1,324,904	1,277,183
負債合計	6,631,249	6,262,503

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,837,500	5,837,500
利益剰余金	1,181,031	<u>913,553</u>
自己株式	<u>△99,641</u>	<u>△99,703</u>
株主資本合計	<u>6,918,889</u>	<u>6,651,350</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,930	△7,752
為替換算調整勘定	<u>△746,045</u>	<u>△697,670</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>△750,975</u>	<u>△705,423</u>
純資産合計	<u>6,167,913</u>	<u>5,945,926</u>
負債純資産合計	<u>12,799,162</u>	<u>12,208,430</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	3,153,677	2,524,828
売上原価	2,425,328	2,152,305
売上総利益	728,348	372,523
販売費及び一般管理費	595,167	647,155
営業利益又は営業損失(△)	133,181	△274,632
営業外収益		
受取利息及び配当金	830	942
持分法による投資利益	6,396	7,382
受取技術料	7,648	11,405
その他	15,804	17,466
営業外収益合計	30,680	37,196
営業外費用		
支払利息	16,591	15,391
為替差損	1,640	2,056
売上債権売却損	2,530	1,643
その他	1,633	1,641
営業外費用合計	22,396	20,733
経常利益又は経常損失(△)	141,465	△258,169
特別利益		
固定資産売却益	2,355	—
貸倒引当金戻入額	49	—
特別利益合計	2,404	—
特別損失		
固定資産除却損	329	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,268	—
特別損失合計	21,597	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	122,272	△258,169
法人税、住民税及び事業税	7,727	14,883
法人税等調整額	△473	△5,575
法人税等合計	7,254	9,308
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	115,018	△267,477
四半期純利益又は四半期純損失(△)	115,018	△267,477

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	115,018	<u>△267,477</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,819	△2,822
為替換算調整勘定	43,397	34,000
持分法適用会社に対する持分相当額	4,901	14,373
その他の包括利益合計	<u>42,479</u>	<u>45,551</u>
四半期包括利益	<u>157,498</u>	<u>△221,925</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	157,498	<u>△221,925</u>
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
(セグメント情報)

I. 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電子部品 組立装置	電子部品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,643,999	1,229,963	2,873,962	279,714	3,153,677
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	25,684	25,684
計	1,643,999	1,229,963	2,873,962	305,398	3,179,361
セグメント利益	180,491	76,170	256,662	13,040	269,702

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リード加工金型及びリードフレーム金型の調達・販売等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び該当差額の主な内容(差額調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	256,662
「その他」の区分の利益	13,040
セグメント間取引高消去	117
全社費用(注)	△136,639
四半期連結損益計算書の営業利益	133,181

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当する事項はありません。

II. 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	電子部品 組立装置	電子部品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,184,951	1,121,493	2,306,445	218,383	2,524,828
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,395	—	27,395	81,001	108,396
計	1,212,346	1,121,493	2,333,840	299,384	2,633,225
セグメント利益又は損失(△)	△80,367	△60,599	△140,967	26,626	△114,340

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リード加工金型及びリードフレーム金型の調達・販売等を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び該当差額の主要な内容(差額調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△140,967
「その他」の区分の利益	26,626
セグメント間取引高消去	117
全社費用(注)	△160,408
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△274,632

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当する事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。